



**○ニエとディーゼがライオスに
懲罰権を行使される本**

+ アリスが公理教会でいろいろされちゃう本

FOR ADULT ONLY





こんにちは、カグツキです。
この度はこの本を手にとって下さってありがとうございます。
ロニティ本です！SAOTB巻ではちょっとしか出番がなかったですが
あまりにもかわいすぎたので描いてしまいましたっ！！
アリスにいたってはMORE DEBAX状態でしたがSAOT11巻ではさっと
出番あるはず！信じてます！

もっとロニティを描いていたかったですが今回はこれが限界でした……
成長したアリスも描いてみたいですし11巻が本当に楽しみです！！
でももし、次がSAOPだったらアリンの飾きは当分おあずけですかっ！！



んん？
すると君達はこの私、
ライオス・アンティノスが
帝付き騎士を性的に辱めていると
そう言うのかね？

そ、そうですねライオス殿……！
貴殿の帝付きのつし二ー力から
私達に涙ながらの
訴えがあったのです！

……ハハッ！
貴君らは、この私、三等爵家長子たる
ライオス・アンティノスに
不敬甚だしい物言いをしたア！
ゆえに私には学院則にのっとり
懲罰を下す権利があるア！

しかしながら私は三等騎士の長子、
そして貴君らは六等騎士の娘だア！
なれば学院則の懲罰権よりも
貴族懲罰権を行使する権利が
優先するッ！

懲罰権はいいものだヤオ！
学院則のようなクチ臭い規定は一切無し！
禁忌に触れない限り、何をしようと、
何を命じようと自由なのだッ！

……ところで貴君ら、
異性と口付けを交わしたことは
あるかな？

そ、そんなこと
したことはありませんっ！

ハハッ！そうかそうか
ならば私の男相に口付けを
することを許可してやろう……
至禱でなアアッ！

そ、そんな
私達、殿方と口付けを
交わすのは初めてなのです……
なのに男性器となんて……っ

んん……っ
やはりニはキリト殿の
席付キから奉仕してもらう
のが辞か……！

ウンベールウウッ……！
コージオ殿の席付きは
貴君にくれてやるッ……！

ひっ……っ
お願いします……許してください
ライオス殿……いやあ……

ライオス殿……！
このウンベール謹んでお役目
引き受け申すっ……！

い、いやあ……まないでくださいっ
せ、先輩……助けてええっ！
ふぐうっ……？
んんんっ……！

んんん……んんん……んんん
……んんん……んんん……んんん
んんん……んんん……んんん……んんん
んんん……んんん……んんん……んんん
んんん……んんん……んんん……んんん

うえっ……いやあ……！
酷いこと……しないで……
せ、先輩、キリト先輩助けてえっ……
うっ……ぐ……うっ……
んん……いやあ……
離してくだ……んん……んん……！

ふぐううっ……！
んん……んん……ちゅ……んん
んん……んん……んん……んん……
んん……んん……んん……んん……
んん……んん……んん……んん……
んん……んん……んん……んん……
んん……んん……んん……んん……



ライオス殿ッ！
「こちらもなかなかの物
ですぞ！まったくもって
「コージオ殿にはもったいない！
おおおおおおッ——！」

あ、熱いのが……
き、気持ちっ……わ、悪いのが……
い……いや、いや……っ
「さあさあどんどん精液を
飲まないで窒息して
しまいますよおッ——！」

んぶうっっー！
うえっ……えっ……
「こほっ……うええっ……
んむっ……むっ……
んむうっ——！」

「おッおッこの傍付きの喉……
なかなかの名器ではないか……ッ——
キリト殿には勿体無いな……
ではまず一発ッ！
ハハハアアッ——！」

んぐっ……んぐううう……
んんっ……ん——っ！
うええ……えう……
「げほっ、はっ……はあはあ……
びっく……ふえええっ……
いや、いやああ……
ぐすっ、うくっ……ううう……」

「どうして？どうしてこの方達は、
こんな酷いことをして平気な
わらっていられるの……？
教えてくださいキリト先輩……」

「どうして……？
どうして私はこんな辱めを
受けなくてはいけないのですか？
先輩……コージオ先輩……っ」

うえ……こ、これで許していただけるのですか？
ライオス殿……ひゅっ……
ハハッ！何を言うこれからが本番であるぞ？
処女の書帯には多少酷かもしれないが……

平民のキリト殿などより
上級貴族の私に書帯の処女を
捧げるべきなのだッ！

えっ……？
そ、そんな……
まさか……

私の一物もライオス殿ほど
ではないがかなりのものなので
お覚悟をッ！

そ、そんな酷い……
あぐっ……ひゅ、あ、あつ、
いやあああああつ！
やああつ、ひ……きつ、あ、あ、あつ、
うあああああああつ！

ひゅ……
いやっ、いやあああつ！
やだつ、やめてつ、お願いですから
やめてえつ、いやあああつ！
だめつ、だめだめだめ、
いやあああああつ！

あせいいつ、クージオ先……輩、
ひゅ……つ、やあつ、
うああつ、あつ、いたいたい、
いやあつ、うあああああつ！



うあああああつ、あひつ、キあ、ああああつー！
やめ……あひいっ、いぐっ……
うあつ、あ、あああああつ！

やめ……てえええええっ！
いやっ、コージオ先ばいいいっ、
心守の……うあつ、あせいいいっ！

まったたく五回囁く泣き喚く暇があったら
毛の締め付けて頂けませんかねッ！

ウンペール殿はそう言うて、
私の股間に手を滑らせてきて……
陰核を思いっきり捻り上げた……

キ……、あああつ、
うあああああああああつー！
あせいいいっ、
うああつ、ああつ、あああつ
うあああああああつー！

い、いやっ、いやあ……
毛、毛、私……
変に、なっちゃう……死んじやう……っ
どうして来てくれないのコージオ先輩……

もうどのくらいこの陵辱行為が
続けられているのだらうか……
私の大事なところには幾度も幾度も
身体の内側に浸透するくらい
激しく精液が流し込まれていた……

ほらほらどうした体んでいる
暇はないぞッ！そらアアッ！

そういうとライオス殿は
腰を振る動作に合わせて
私の陰核と乳首を
一気に捻りあげた……

もういやあつー！抜いてっ……
抜いてくださいっ……

いきっ……いやあああああああつー！
あひい、いき……あ、あ、あああ
あああああつー！うあああああつー！

やだ・うあああああつー！
掃りたい……オオあつ、心ぎいい
キリト先輩の……ところにつ
あ、あ、あつ、やだ、やだあああああつー！

さて……それは、せっかく指導生たる
キリト殿とコージオ殿がおいでなのだ。
引き續す前に、帝付きの離け方という
ものを、もう一度きっちりイイイイ……と
お見せしようではないかアアアアアア

おやアアアこれはこれは
キリト殿とコージオ殿では
ないかアア!

すいぶん遅かったではないか……
また性懲りもなく
お花に水でもあげていたのかなアア
もう二つらの囁き書は二つとも
摘み取られたのだがアアアア!
キヤハッ、キヤハハハハハハ!

……せん……ば……いつ

雷が掛かったような顔が
少しだけはっきりする……
あれは……あの聲は……

いったい……とれだけ、
私は陸辱されたのだろう……
数なんて、もう全然分からない……
身体中がべたべたする……
早く綺麗にして先輩のところに
戻らないと

嘩あああああ回らないぞえええ
私達は穴という穴から精液を
だらしなく垂らしながら
先輩達と再会した……



ひ……ぎっ、んっ、う
あああああああっ!!

い、いや……なにこれえ……っ……
気持ち悪い……いやっ、
入って……入って……っ

ひぐ……や、うあ、あ、あっ
やめて……いやっ、んんううっ……っ?

初めましてえ
アリス・ツベルクッ!
アタシは元者千ユテルキン……
いかがですかあ
元者たちの男根の味はあ?

……ぶはあっ
あ、あなたが公理教会
の元者ですって……っ?
馬鹿も休み休み言いなさいっ

ああ無駄ですよー!
その手足の布は結構な優先度を
もつ品ですてね
それを着けられた者は赤子同然の
かしこたせないんですよー!

男の股間の物に口と
大切なところを同時に奪われ
処女を奪われた象痛に耐えながら
声のした方に視線を動かす……

まあいいでしょう
どうせこれから壊れるまで元者たちに
扱われるんですから
寛大な心で許してやりましょうっ!

二、このメス隊……っ
最高司祭様からの信頼も厚い
この元者千ユテルキンに
対してなれたる口の利き方っ!

これからオマエは二人で
恐怖と絶望の涙を流しながら三日三晩
の青め苦のはてに魂なき木偶人形
になるんですよ！

つまりは叩しつくして心の壁を
無理矢理に抉り開けた上で
元老たちの辱重術式によってオマエの
大切にしている思い出を奪い尽くす……

……ぶはあ
ほ、本当に元者様なのですか……っ
ならどうして……どうして
このような酷いことをなす……

んんうっ……ぐ、んっ
ふああ、あああつ
いやあああああああああつ！
痛い痛い、や……やめ……
ひぎいっ、いやっ、あぐ……
いやあああああつ！

少しは喜んで頂きたいですわえッ！
オマエはこれから整台騎士に、
教団の命するままに動く操り人形に
なるんですよからッ！

んむううっ……いっ
んっ……んうっ……んっ
んぐ……んうっ、んううううう……
いやっ……いやああつ……
痛い痛い痛い……
男性器が私の口とお腹の中で
暴れて体の中が穢されていく……

んうっ……ふあつ、
やめなす……んんううっ
んぐっ、んうっ、んう……



こ、こんなこと……最高可察様が
お許しに……なるこ
思っけいらっしやるのですかっ！

ホヒッ……
ホヒッ……ヒッヒッヒッヒッヒッ……

バーカー！バーカー！
オマエにてキメス時に
最高可察陛下の御心を推し廻る
ことなど不可能オオオオッ……！

い、いやあぁ……
お腹の中で熱いのが、
広がって……っ

……まさか、これって……
身体の奥の大切な所まで
穢されてしまったの……？

い、いやっ、いやあぁっ！
ま、まだ……寝れて……いやっ、出てる……
キリトにあげるはずだった大切なところが、
穢されてる……

嘘………こんな、いやっ、
私の大事なところが熱くなって
痛くて……っ
キリト………たすけて……

バカなことを轉らぬよう
もっと責めを強化して
やりましょうかねえ
ホホオ……

い、いやっ……
いやいやいやいやっ……
キリト……キリト……

うそ………そんな………こんなこと……
いやっ、いや……
近付かないで……っ……

んぐっ……んっ、んむっ……
んっ、んうっ……ぐ、
んう……んむううう……

さあてメス睨ア……
いや声で啼いてくださいよう！

口を塞がれて悲鳴すら
着足に上げられない状態で……
私は陰核を捻りあげられ、そしてさらに
汚らわしいモノが
お尻の穴にねじ込まれた……

い、いやあああっ！
どうして、お尻なんかにつ……
気持ち悪い、気持ち悪い……
いやっ、いやああっ……

さらに別の元老様が近付いてきて
また私の大切なところに
股間のモノを突き立てる……

ひ……ぎいっ、うあっ、
あ……あぐっ、やっ、いや……
あああああああああ……
離れ……てください……いやっ、
やめて……んあああああ……
ひいっ……んうっ、うあっ、
あああああ……

いきいっ……うあっ、
ひぐっ……やっ、うあっ、いやっ、
やめて……んあああああ……

おほはおおおお……！
その声ですよ……
恐怖と絶望の色に染まった……
ほああっ！ほあああ……あ……あ……

あぁっ！ほおおおおっ！
想像以上……想像以上ですよアリス！
オツエは精液で汚されれば汚されるほど
美しくなる……今のオツエが流す涙は
寶石のように美しいイッ！

……もつとオ、もつとオオオオッ！
アキシに輪転を感じさせなさいイイイッ
ホホオ——！

ぬ、抜いて……いやっ、
あぐ……んっ、ふあっ、
あ、あ、あっ、はひいっ……
ひき……う、あ、あぁっ、
や……いやあぁっ！
抜いてっ、抜いてええっ！

ひ、……い、あ、あ、あっ、
ふあああああぁっ！
い、いやっ、キリトっ、うあああっ、
お尻の穴が抉られて……ひきっ、う、あああ、
あ、あぁっ！

な、なに……この感覚……
キリト……怖いよ、
私、おかしくなっちゃったのかな……

んんうっ……うああ、あ、あ、あっ、
ひ……やっ……やめ……っ
ひ……い、いやっ、
うあああああぁあぁあぁっ！



date of issue : 2012/08/12

publisher : L'ARCHANGE カグツチ

website : <http://kagutsuchi.jp/>

printing office :

SUNGROUP CO.,LTD.





○ニエとディーゼがライオスに 懲罰権を行使される本

+ アリスが公理教会でいろいろされちゃう本

FOR ADULT ONLY

